

幼稚部 発表会

「もっともっとおおきなおなべ」のげき

劇の練習が始まった頃は、台詞や歌がわからず、声や動きが小さかった子どもたち。しかし、練習を重ねるにつれ、台詞を覚えて大きな声で言ったり、困った顔や嬉しい顔など表情豊かに表現したりすることができるようになりました。ぞう組は台詞の数が多いのですが、台詞を一生懸命覚えている下級生を見て「もっと頑張らないと」と家で特訓をしたようです。うさぎ組から「ぞう組は台詞が上手だね」と憧れの眼差しが注がれるほど、役になりきって演じていました。



「パプリカ」のおゆうぎ

運動会が終わってからも、毎日踊っているほど大好きな「パプリカ」のお遊戯。曲が流れた途端に生き生きと踊り出す子どもたち。全身で踊る姿は、まるで本物のFoorinのよう。その姿に会場中が笑顔になりました。



発表会では、見に来てくださった方々に伝わるようにどの子も、練習の時よりも大きな声と手話で堂々と演じたり、はじける笑顔で踊ったりしていました。多くの方々の前で発表し、たくさんの拍手をもらったことは、大きな自信になったと思います。